

高浜の総点検求める

福井 県民ら、県と規制委に

福井県の原子力発電—原発問題住民運動県に反対する県民会議、—連絡会、原発住民運動



県に要請する中島代表委員（右から3人目）らと佐藤県議（右端）＝2日、福井県庁

福井・嶺南センターは2日、トランプル続きの関西電力高浜原発4号機（福井県高浜町）の総点検を求めて、原子力規制委員会と県に要請を行いました。

中島哲演・県民会議代表委員らが、県庁では野路博之・原子力安全対策課長と、敦賀市の敦賀原子力規制事務所では小山田巧・地域原子力規制総括調整官（福井担当）と面会し

高浜4号機 冷温停止に

発送電開始の作業中、原子炉が緊急停止

した関西電力高浜原発4号機（福井県高浜町）は2日午前、冷却水が低温に保たれ原子炉が安定的な状態となる冷温停止に移行しました。

関電によると、1日

ました。日本共産党からは佐藤正雄県議が県庁で、北原武道若狭町議、河本猛美浜町議が規制事務所と同席しました。

高浜4号機は、原子炉補助建屋内で放射性物質を含む1次冷却水漏れがありました。2月26日に再稼働を強行しました。さらに同日には、発送電開始の作業中にタービンと原子炉が緊急停止しています。

中島氏は抗議の意思を表し、30年経過の老朽炉で起きた緊急停止で「原子炉の構造物がダメージを受けていないか」と案じまし

夜から原子炉の温度や圧力を下げ始め、2日午前8時45分に1次冷却水の温度が93度以下の冷温停止になりました。

4号機は2月26日に再稼働しましたが、29日に送電線側から発電機側に設定値を超える電流が流れたため、原子炉が緊急停止。関電は過電流の原因を調べています。

た。

また、「発電機本体の故障なら、火災の重大事故につながるかねない」と指摘。徹底調査や、第三者の専門家らによる調査・公表と県民理解、3号機の停止などを求めました。小山田総括調整官は「かなり審査は自信をもって厳しくやってきた」との認識を示し、緊急停止の影響については「それなりのリスクはある。ご指摘の通り」とのべました。

野路課長は「県としても遺憾だ」「規制委員会には、法令に基づき原因究明や対策をしっかり判断して対応してもらいたい」と述べるとどまりました。